

「イクメンプロジェクト」第5回「イクメンの星」に選定された方々

ニックネーム	堀川 佐渡
本 名	堀川 佐渡 (ほりかわ さど)
職 業	会社員
年 令	39 歳
育休・育児体験談	
<p>長男の時の「やってるつもりがいいところ取り育児」への反省、それに純粹な好奇心から、次男の時に共働きの妻とバトンタッチして育休を取得。生後3ヶ月のベビーを連れての「完全主夫」生活を真冬の1月から3ヶ月半送った。</p> <p>会社ママ友後輩とのランチや毎日2時間以上のベビーカーでの散歩、ママ学級へのパパとしての単身参加、公園でのビール♪など育休をトコトン楽しむと同時に、自分の人生を考え、家族との絆を再認識するなど「宝物のような時間」を過ごせた。</p> <p>この育休体験を「その時だけの免罪符」にしてはいけないと会社でのキャリアを替え、それまでの営業職からワークライフバランス推進部門へ自ら希望して異動。復帰後から今も次男の保育園への送迎および夕食、風呂入れ、寝かし付けを欠かさない生活にチェンジし、日々生産性を高め仕事と家庭の両立を模索しながら続けている。</p> <p>最近、「企業における男性育休取得の成功例」としてメディアや講演会等で話させてもらうことも多くなってきた。自分の経験を伝えることで、男性が育児に参画しやすい社会を実現する手助けができればこれ以上の喜びはない。しかしながらそのためにも、ひとりの父親として子育てを妻とともに泣き笑いしながら地道に楽しんでいきたい。</p> <p>(ちなみに人生におけるかけがえのないパートナーである妻に対しては、日々感謝しながらも元来の口べたな性格のためコトバで伝え切れていないことを反省する毎日。しかしながら少なくとも誕生日、クリスマス、ホワイトデーのプレゼントは欠かさないようにしている。)</p>	

ニックネーム	やっちゃん
本名	林 靖雄 (はやし やすお)
職業	会社員
年齢	35 歳
育休・育児体験談	
<p>結婚してから 10 数年。訳有って離婚。</p> <p>子供 2 人、12 歳と 7 歳を引取る。</p> <p>普通のサラリーマンの為、当然仕事も普通に有り。時間の融通利かず。</p> <p>そんな男が、突然家事・育児をすることになり四苦八苦。(現在進行中) 今まで大して家事も育児もしてこなかったもんだから、世のお母様方の大変さを身にしみて感じているところ。</p> <p>毎日、仕事を終えてから下の子を迎えに行き夕飯。一緒に宿題をし、風呂に入り就寝。その後、片付け・洗濯・次の日のご飯の準備と大忙し。その為か、やること優先になってしまい子供の相手が出来ず、現在上の子との関係が悪化中。</p> <p>学校からは何度も呼び出しをされる始末。子育ては難しいっていうのを身にしみて感じております。。</p> <p>ただ、学校の先生やみんなに非常に迷惑をかけている中、大変恐縮ですが子供のおかげで、加速度的に自分が成長しているのを実感しております。</p> <p>それでも子供との良い関係が出来ず、頭を悩ませているのが現状です。</p> <p>問題は自分にとって必要だから起きるもの。また、その問題が大きければ大きいほどクリアした後の喜び・成長は大きい。</p> <p>子供もこれを乗り越えれば大きく成長するはず。しっかりと導いてあげたい。</p> <p>母親がいない分、いる子以上に愛情を持って接していこうと思う。</p> <p>大好きな子供たちのために</p>	